

# 新病院を液状化から守ります TOFT(トフト)工法で建築中

新病院の建設に向けて、2月より国体町で本格的な工事が始まりました。新病院ではTOFT工法（耐液状化格子状深層混合処理工法）で基礎工事を進めています。TOFT工法とは、液状化対象の軟弱な地盤にセメント系の固形材を混合して、強度が高く安定した改良体を平面的に格子状に連続して配置し、地盤の強さを上昇させる工法です。そのため、地震で激しく揺れても、改良体が地盤の変形を抑止し、液状化発生を確実に防ぐことができます。

国体町の新病院は、地震や津波等での被害を最小限にすべく建造しています。災害拠点病院である当院は、患者さんや地域の方々を守ることを使命とし、建築計画を進めていきます。

